

2025年度スクールソーシャルワーク全国実践研究集会

～幼少期からキャンパスまで、切れ目なく支えていくための支援体制をめざして～

学校教育法施行規則の一部を改正する省令において「スクールソーシャルワーカー」が明記され、2022年12月の『生徒指導提要』(改訂版)では学校教育における支援チームとアセスメントの体制づくりにスクールソーシャルワーカーの役割が明示されています。また、地域共生社会の実現に向けて、学校と市区町村のつなぎ役としてスクールソーシャルワーカーの役割が期待されています。

一方で、貧困や特別な支援が必要な子どもなど就学前の段階で支援が必要なケースや、義務教育修了後も課題が解決せず高校や大学などへの進学後にも影響を与えるケースもあります。また、近年は子どもたちが抱えるメンタルヘルスの課題への対応も求められているところです。そこで、今回の全国実践研究集会では、「幼少期からキャンパスまで、切れ目なく支えていくための支援体制をめざして」をテーマに、義務教育前後の段階でのソーシャルワークの実践を学び、移行期の連携について考えるとともにメンタルヘルスへの対応についても考えていきます。

1. 開催日時：2026年2月15日（日）9：00～15：30

2. 会 場：オンライン会議室（Zoomウェビナー）

3. プログラム

時 間	内 容
9：00～9：10	オリエンテーション、開会挨拶
9：10～10：10 (60分)	行政説明：「児童生徒の自殺対策に関する取組」 「社会福祉士をはじめとしたスクールソーシャルワーカーへの期待」 報告者：梶原 淳氏（文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課生徒指導室 いじめ・自殺等対策専門官） 小泉 翔氏（文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課生徒指導室 生徒指導第二係長）
10：10～10：20	休憩
10：20～11：20 (60分)	実践報告：「学校支援と家庭支援をつなぐSSWの視点（仮）」 報告者：福井 良江氏（兵庫県社会福祉士会、神戸市教育委員会）
11：20～11：30	休憩
11：30～12：30 (60分)	基調講演：「メンタルヘルス視点で、こども・若者支援を考える ～キャンパスソーシャルワークの立場から～」 報告者：名城 健二氏（日本精神保健福祉士協会、沖縄大学教授）
12：30～13：30	昼食休憩（60分）
13：30～15：20 (110分)	シンポジウム：幼少期からキャンパスまで、切れ目なく支えていくための支援体制をめざして コメンテーター：名城 健二氏 【シンポジスト】 保育ソーシャルワーカー：田邊 哲雄氏（兵庫大学教授） スクールソーシャルワーカー：米倉 治美氏（鹿児島県社会福祉士会 鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会） ユースソーシャルワーカー：加藤 重樹氏（東京都教育庁）
15：20～15：30	閉会

4. 参加対象：社会福祉士、教職員、教育行政、児童福祉関係者、スクールソーシャルワークに関心がある者等

5. 定 員：180人（先着順）

6. 参 加 費：都道府県社会福祉士会の会員 4, 000円（税込）

会員以外 6, 000円（税込）

学生 1, 000円（税込）

7. 申込方法：右記の二次元コードまたは下記の URL から、本研究集会の申込フォームにアクセスしていただき、必要事項をご入力の上、お申し込みください。



【URL】 <https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oard=1ctete-789d8798a111144fca90d3f88a3db1a0>

8. 申込締切：2026年1月21日(水) (先着順)

9. 参加可否：参加の可否は、1月末までに、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡します。併せて、参加費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。

※参加申し込みが少ない場合は、開催しないことがあります。

※学生のお申し込みの場合、身分証明書等による本人確認をお願いさせていただく場合がございます。

10. 研修単位：全てのプログラムを修了することで、生涯研修制度の単位として、生涯研修制度独自の研修・実績の5時間分となります。

11. 留意事項：・本研究集会の参加には、PC またはスマートフォン等の機器と、インターネットに接続できる環境が必要です。<参加に必要な機材の例>は以下のとおりです。マイク及びカメラがない場合でも参加可能ですが、質問等がある場合に対応いたしかねますので、予めご承知置きください。

<参加に必要な機材の例> ※以下のいずれかを満たしていることが必要です。

・内蔵または外付けカメラ+WindowsPC (Windows11 以降)

・内蔵または外付けカメラ+Mac (OS10.13 以降)

・内蔵カメラ+iPad (iOS13 または iPadOS13)

・内蔵カメラ+タブレット (Android8.0 以降)

・内蔵カメラ+スマートフォン

・現在は所有していないが、研修までに購入する予定

・インターネット環境も各自で準備ください。通信料等は各自の負担になります。なお、使用する機器や各種契約により、通信料が高額になる場合も想定されますので、予め確認してください。

・本研究集会では、Zoom ウェビナーを使用しますので、事前に Zoom アプリをダウロードしてください。Zoom アプリをダウンロードしたら、接続テストを行うことを推奨します。

なお、本研究集会の受講だけであれば、Zoom アカウントの取得（サインアップ）は不要です。

<Zoom テスト用 URL : <https://zoom.us/test>>

・自然災害の発生等により、本研究集会を中止することがあります。本研究集会が中止となった場合は、参加費の返金を行います。

・通信環境・通信機器等の原因により、当日参加できない場合の返金は、対応いたしかねますので、予めご承知置きください。

・申し込みされた個人情報は、本研究集会の運営以外の目的には使用しません。

12. 主 催：(公社) 日本社会福祉士会

13. 後 援：文部科学省、こども家庭庁

14. 問い合わせ先：(公社) 日本社会福祉士会 生涯研修センター (受付時間：平日 9:30~17:30)

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-13 カタオカビル 2F

TEL: 03-3355-6541 e-mail: kenshu-center@jacsw.or.jp